

徳島小松島港 中期構想



2020年3月

四国地方整備局 小松島港湾・空港整備事務所
徳島県

はじめに

■背景

港湾背後への高速道路延伸、新たな企業立地の動向、クルーズ船寄港の増大、トラックドライバー不足、南海トラフ地震等の切迫性の高まり、港湾施設等の老朽化、陳腐化等、徳島小松島港を取り巻く状況は大きく変化。

■目的

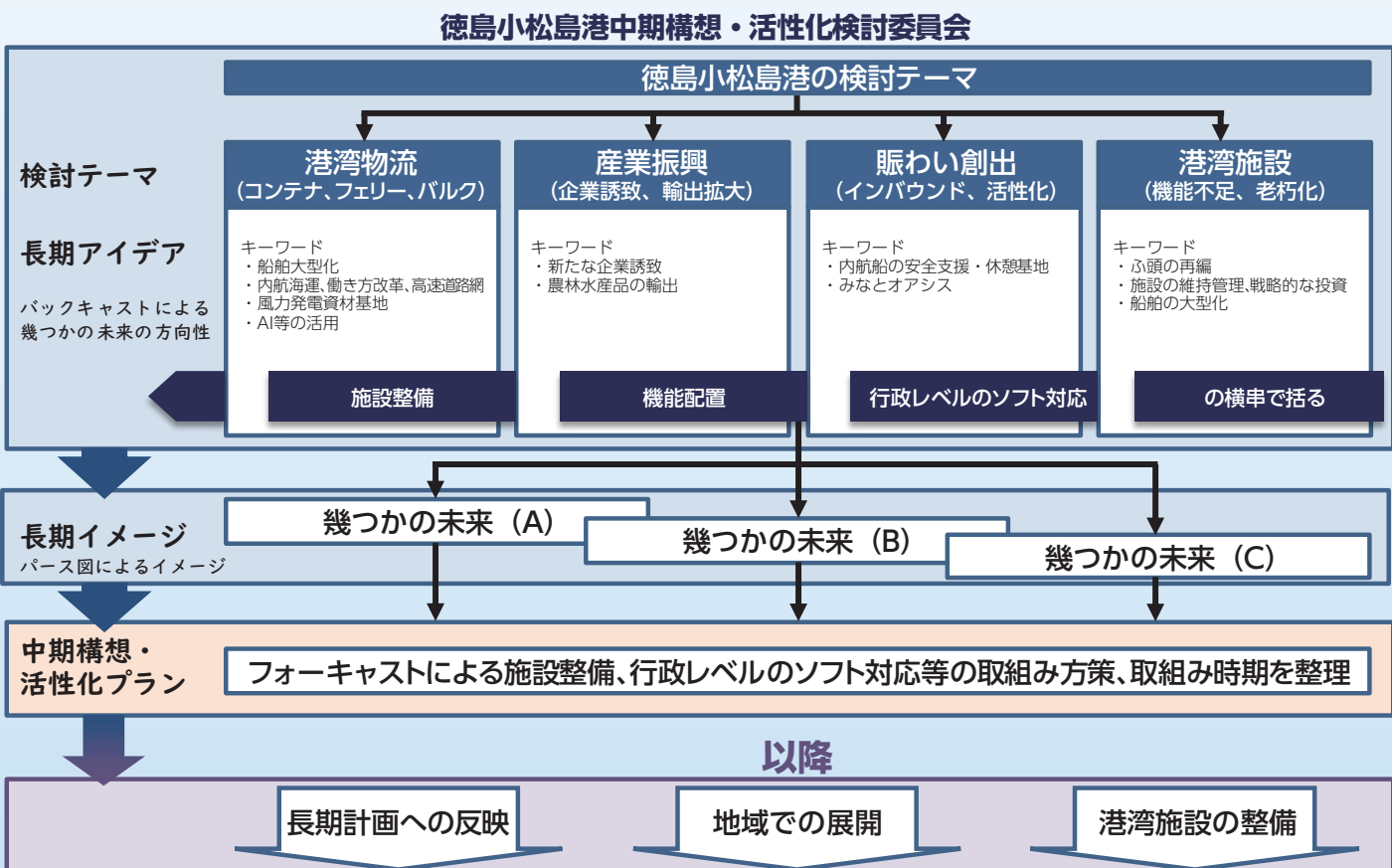
以下に挙げる①～③を目的に、学識者、港湾関係者、行政による「徳島小松島港中期構想・活性化検討委員会」を組織し、港の将来について検討。

- ①徳島小松島港の長期的(概ね20年程度)なイメージを構想。
- ②長期的なイメージを見据え、中期的(概ね10年程度)な計画として中期構想を策定。
- ③中期構想との整合を図りつつ、港からの活性化方策を小松島港区について策定。



■方法

長期的なイメージはバックキャスティング思考(将来のあるべき姿から考える)、中期構想はフォーキャスティング思考(現状の課題や実績から考える)で検討。



徳島小松島港の一步先の未来

新しい価値観を発信す

大正

大正12年
小松島新港地区の修築工事を直轄施工により着手

昭和

昭和9年
小松島新港地区が完成

昭和26年
小松島港が重要港湾に指定される

昭和35年
本港地区に水深9mの岸壁が完成



昭和43年
金磯地区に水深9mの岸壁が完成



昭和48年
金磯地区に水深11mの岸壁が完成



平成

平成5年
マリニピア沖洲第一期工事が竣工



令和

沖洲(外)地区

津田地区

本港地区

金磯地区

赤石地区

徳島小松島港港湾区域



長期イメージ(2040) ~バックキャスト(理想の将来)

物流防災

時代の転換期に対応した港湾へ

四国の東

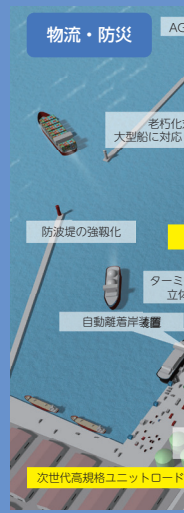
未来の姿

- ①次世代高規格ユニットロードターミナルの拠点
- ②AI国際物流ターミナルの拠点
- ③災害時の港湾機能継続

徳島県の未来には

安全安心「とくしま」の創造への貢献

大規模災害に備えた広域的な連携強化に貢献する内航ユニットロード



賑わい観光

徳島ならではの歴史・文化を活かした魅力ある港湾へ

水陸一体

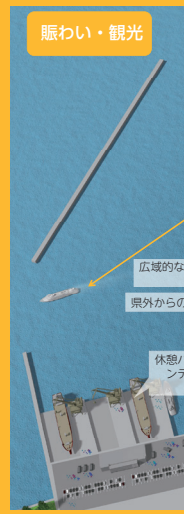
未来の姿

- ①クルーズ船を迎える海の玄関
- ②内航船の安全支援拠点

徳島県の未来には

世界へはばたく「とくしま」の創造への貢献

観光資源を掘り起こし、磨き上げ、魅力ある海に開けた空間形成に貢献



環境への貢献

次世代技術による環境負荷低減に資する港湾へ

次世代技

未来の姿

- ①次世代エネルギー活用拠点
- ②地場産業を支える物流拠点

徳島県の未来には

環境先進とくしまの創造への貢献

臨海産業地帯等次世代エネルギーを活用した産業競争力の強化に貢献

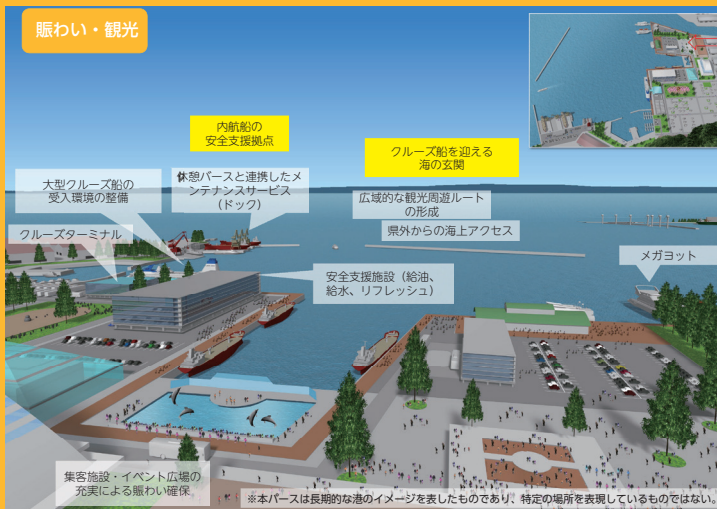


将来)~

玄関とくしま「AIターミナル」



魅力的な活用による魅力あるとくしま「臨海空間」



技術を取り込み強靱化したとくしま「臨海産業地帯」



産業振興に貢献する付加価値の高い港湾へ

中期構想(2030) ~フォーキャスト(課題・要請への対応)~

物流

次世代技術の導入による物流効率化により、
「四国地域全体の活力増大」を実現

基本施策	具体的な施策
船舶の大型化や老朽化した港湾施設の再整備等による物流機能の強化、強靱化	大型船舶に対応した岸壁整備
	大型船舶の複数接岸
	コンテナ物流の地元港湾利用の拡大
老朽化・陳腐化した港湾施設の再整備、強靱化	
四国横断自動車道の開通による物流機能の強化	港湾と背後地アクセスの改善

賑わい・観光

世界各地から寄港するクルーズ船寄港増大による、
「世界に誇れる徳島・小松島」と
近海を航行する内航船の寄港による、
「日本に誇れる徳島・小松島」を実現

基本施策	具体的な施策
クルーズ船・内航船の寄港増大や賑わい施策充実等による海上からの集客機能の強化	乗船客の満足度の向上
	海上からの集客機能の強化
来訪する観光客のアクセス道改善等による陸域の周遊機能の強化	寄港地・観光地として満喫できる港づくり

産業振興

徳島小松島港と背後地域の特色を生かした産業振興による
「アジア地域等世界との繋がり」を実現

基本施策	具体的な施策
新規需要及び関連する産業の誘致等による産業振興の強化	企業の立地・誘致による地域経済への波及拡大
	農林水産物の輸出促進

課題・要請と対応方針

対応

←課題1
外貿コンテナ(県内貨物)の徳島小松島港集貨への対応

←課題2
船舶の大型化による沖待ちの発生等への対応

←課題3
港湾施設の老朽化・陳腐化への対応

←課題4
港湾倉庫等立地のための用地不足への対応

←課題5
港湾と背後地のアクセスの改善

←要請1
農林水産物の輸出促進

←要請2
港湾地域での観光振興

←要請3
地域経済の活性化

中期構想における取組み方策

■物流に関する取組み

基本施策 1：船舶の大型化や老朽化した港湾施設の再整備等による物流機能の強化

具体的な施策	取組み内容	取組み時期	地区
大型船舶に対応した岸壁整備	大水深岸壁の整備	○→	赤石
	荷役機械の大型化	○→	
大型船舶の複数接岸	バース再編	○→	赤石
	ふ頭用地の確保	○→	
コンテナ物流の地元港湾利用の拡大	新規航路の開設及び国際フィーダー航路の充実	→	赤石
	陸上輸送の効率化(コンテナラウンドユース等)	○→	
老朽化・陳腐化した港湾施設の再整備、強靱化	老朽化・陳腐化した岸壁・防波堤の再整備、強靱化	→	各地区
	重要インフラ緊急点検に基づく対策	→	
	長寿命化計画に基づく点検・維持管理	→	各地区

基本施策 2：四国横断自動車道の開通による物流機能の強化

具体的な施策	取組み内容	取組み時期	地区
港湾と背後地アクセスの改善	IC 整備に合わせたアクセス道連結	→	各地区

■賑わい・観光に関する取組み

基本施策 3：クルーズ船・内航船の寄港増大や賑わい施策充実等による海上からの集客機能の強化

具体的な施策	取組み内容	取組み時期	地区
乗船客の満足度の向上	船舶の規模やタイプにあった岸壁の提供及び背後地の充実	→	沖洲(外) 本港 金磯 赤石
	乗船客をはじめ港湾来訪者の多様なニーズを取り込んだ賑わい施策や憩い空間の充実	→	
海上からの集客機能の強化	新たな「海上交通」の導入	→	県下全域を対象に検討

基本施策 4：来訪する観光客のアクセス道改善等による陸域の周遊機能の強化

具体的な施策	取組み内容	取組み時期	地区
寄港地・観光地として満喫できる港づくり	アクセス道改善による観光周遊のための滞在時間の拡大	○→	本港
	歴史や文化施設等街の回遊ルートの港まで延伸	○→	
	港のシンボル化による集客増大	→	
	小型船だまり(ポートパーク)の充実・適正利用	→	各地区

■産業振興に関する取組み

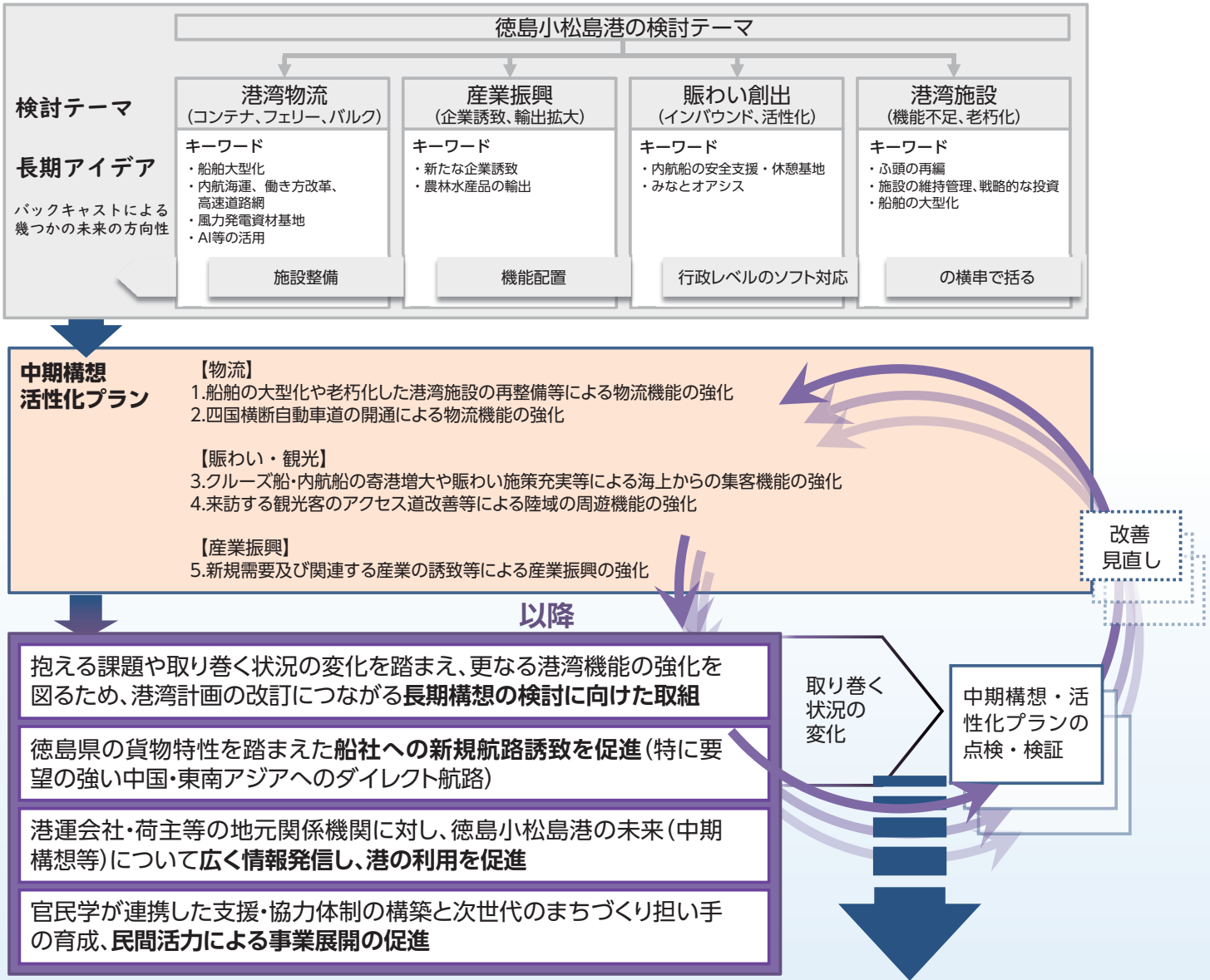
基本施策 5：新規需要及び関連する産業の誘致等による産業振興の強化

具体的な施策	取組み内容	取組み時期	地区
企業の立地・誘致による地域経済への波及拡大	大水深岸壁の整備	○→	津田
	企業の誘致	→	
農林水産品の輸出促進	状況に応じた新たな用地造成の検討	○→	—
	ふ頭用地の拡大・整備	○→	津田 赤石
	IC 整備に合わせたアクセス道連結	○→	

→：着手済み ○→：今後着手予定

おわりに

徳島小松島港中期構想は、利便性の高い、魅力ある港湾を目指して、徳島小松島港の将来像を設定し、それに向けた取り組み方策を取りまとめたものであり、今後、実行段階に移行する際には、取り巻く状況の変化を考慮し、必要に応じて、点検・検証を行い、改善・見直しを図る予定。



徳島小松島港の未来

- 時代の転換期に対応した港湾へ
- 徳島ならではの歴史・文化を活かした魅力ある港湾へ
- 次世代技術による環境負荷低減に資する港湾へ

四国の東玄関とくしま[AIターミナル]

水陸一体的な活用による魅力あるとくしま[臨海空間]

次世代技術を取り込み強靱化したとくしま[臨海産業地帯]

【お問い合わせ先】 国土交通省四国地方整備局小松島港湾・空港整備事務所 企画調整課 TEL 0885-32-3855
 徳島県国土整備部 運輸政策課 TEL 088-621-2582